

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
319	日本文学研究史 <History of Studies in Japanese Literature>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
日本文学	塩村 耕(SHIMORA Koh OIDA Haruhiko)・大井田 晴彦		後期	水曜：2限
講義題目 Title	日本文学研究の方法(2)			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	大学院生および研究生による研究発表に基づいた演習である。発表者はあらかじめ司会者と打ち合わせた上で、報告資料を準備する。			
授業の目的 Purpose	具体的な研究成果に基づいた発表の方法を学び、研究史をふまえた日本文学研究の方法を修得する。併せて、自らの専門分野以外についても視野を広げ、発表後の討議を通して、他者の研究について評価を行う能力を高める。 While learning how to give presentations on concrete research results, students will master the methods of Japanese literary studies based on literary research history. In conjunction, students will broaden their own perspective on fields outside their own research and through the question and answer period after presentations, raise their own skill at evaluating other researchers work.			
授業の内容 授業の方法 Content	あらかじめ毎回の発表者と司会者を決め、その研究発表について、参加者全員で討議する。その際の主な検討項目は以下の諸点である。 1 それぞれの研究分野の専門性において、発表内容の問題意識と論旨が明確であるか。 2 研究史をふまえて、意義のある問題設定と立論がなされているか。 3 個別の知識や資料の解釈が正確になされているか。 4 プレゼンテーションのしかたが適切であるか。 特定の専門分野の学会や研究会における発表とは異なり、研究対象や時代の異なる分野の参加者にも解りやすく発表することが要求される。参加者全員が日本文学研究の一般的な方法を修得する場として積極的に討議する。			
教科書 テキスト Textbooks	特に指定せず。毎回の発表資料を発表者が準備する。			
参考書 References	発表者が発表の前週に指定する。			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	<ul style="list-style-type: none"> 発表者は、あらかじめ報告資料を準備し、そのための学習をする。 司会者は、発表者と事前に打ち合わせて論点を整理する。 他の受講者は、予告された発表内容に関わる学習をして、討議に加わる準備を行う。 			
成績評価の 方法と基準 Evaluation	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表内容：40%、期末レポート：40%、討議における積極性：20%。 期末レポートを提出しなかった者は「欠席」扱いとする。 			
連絡方法 Contact information	<ul style="list-style-type: none"> 授業の前後に直接、あるいは随時メールで。 			